

不安広がる収入源や公的年金 勇気を持って資産有効活用 豊かなライフスタイルへ



約230人が訪れた「投信フォーラム2009 in
宇都宮」=どちぎ健康の森講堂

今後については、日本は人口の減少、少子高齢化の進展などから身の回りの生活に必要な次産品の需要も減少し物価は上がりないのではないかと思います。しかし、世界では毎年8000万人の人口が増加。1次産品の需要も増加すると考えられます。つまり日本では物価が下がっていますが、世界的には物価上昇の種があちこちでまかれているんです。一方で収入の面はどうかというと、現役世代は増えなくなると思います。なぜかといいますと日本の企業はボーナスを業績に連動させていて、今年の夏のボーナスは前年比で2割たも減少しました。もう一つ忘れてならないのが2004年度の年金大改正で国民年金や厚生保険の保険料が17年度まで毎年アップすることです。

リタイア世代の人たちは、これも前回の年金大改正で「マクロ経済スライド」が導入され、当面はマイナス0.9%のスライド調整率が適用されるようになつたため、年金が物

「——シングルだから1年だらけです。まだそこから立ち直ってはいきません。な中で私たちはどう金と向き合つたらのしようか。まず家計面からどうえてと、日本の物価は現在、大きく下がつてす。1年前、ガソリンが高くて困った考え方によく分かります。

資産運用は時間を味方につけましょう

ファイナンシャルプランナー 深野 康彦氏

「貯蓄からの投資へ」という言葉をよく耳にします。景気の低迷が長引く中、収入の減少や公的年金に対する不安も広がっています。大切なお金を預貯金だけで運用するのではなく、「お金に積極的に働いてもらう」という「資産運用」の考え方が重要な時代になつてきました。そこでアーティンシャンブルランナーの深野康彦氏と日本を代表するフルート奏者・山形由美さんに「投信」フォアラム2009 in 宇都宮（9月12日・とちぎ健康の森講堂）で資産運用について講演してもらった内容を紹介します。



5

います。税制も毎年のように変わっていて、すべてに自分自身で投資するのは難しくなっています。時間などで無理があれば人に任せることの一つの方法、人に任せるとなれば投資信託です。

産運用はリスクを伴います。リスクがあるからこそリターン(収益)もあり、表裏一貫です。リスクが小さければ収益も小さいと見てください。そこでリスクとうまく付き方法を考えなければなりません。私は「育てていくお金」と言っていますが、それを投資に当てることで資産の底上げができるといいです。

散投資はリーマンショックのときだめだめでした。資金には株式、債券など異なる資産に分散して下さい。そこでリスクとうまく付き方針を考ねなければなりません。また投資時期を分散する「時間分散」もあります。

分散投資が「効いた」と思っています。何に投資するかということですが、現はさまざまな金融商品が次から次から出ていましたよりも目減りは抑えられました。

まとめて運用するため手数料が難しい市場での運用もできます。しかも運用は専門家がやってくれます。ただ値動きのお商品なので元本の保証はできません。この話をするとよく、「お金がありません」と言われるんですが1万円くらいからできます。投資信託はどういう種類があるかというと、運用対象に株式を組み入れて運用する「株式投資信託」と、M&F、M&R、公社債投資信託などで運用する「公社債投資信託」があります。また株式投資信託には「国内債券型」「国内株式型」「外国債券型」「外国株式型」「バランス型」があります。これらを利用して世界のいろいろなところ、資産に投資することができます。

最後に投資信託は人に任せるため手数料がかかります。しかし手数料を払うことによって時間を使効率的に使うことができます。そして資産運用はここにいるだれもができます。投資してみようという勇気があればいいんです。皆さんの資産を少しでも有效地に働かせて豊かなライフスタイルを送っていただければと思います。

私のライフプラン～明るい将来のために～



やまがた・ゆみ 東京都出身。東京藝術大学音楽部器楽科卒業後米国へ留学。世界的に有名なベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の主席フルート奏者として活躍したゴールウェイ氏の数少ない弟子の一人。ソロ活動に加え、室内楽、オーケストラ、吹奏楽団等での演奏活動も豊富。

● 欧州は分散型の財政形成

私は大学を卒業した年にイギリスのケンブリッジという学園都市に行きました。郊外に出ると春先には菜の花が一面に咲き、牧草地では牛や羊が草をむし豊かな田園地帯でした。そして土地の豊かさというものが気持ちにゆとりを与えてくれるんだと言つて実感しました。

● 欧州は分散型の財政形成

村には何百年も住んでいるという古い家が多いんです。しかしながら立派に手入れをして住んでいます。彼らは古いということをとても誇りを思ひ、それを豊かさの一つだと言っているんです。家は古ければ古いほど価打ちが上がるため、財産の価値を高めようと熱心に手入れをします。

ヨーロッパは戦争にさらされた歴史や厳しい冬があるため、地に足が着いた生活をするのが大切だという考えがあるんです。すべてはそういった価値観から出ているんだと思ひます。不動産のほかには貯金や株とかに分散して財産形成をしている姿が垣間見れました。日本について考えてみると、地震が多いことや木造が多いことなどから、不動産にだけ頼るという考え方を持ちにくいようです。お金の運用についても年金問題や低金利で、期待ができないというのが今日日本の現状ではないでしょうか。

私は10年前から那須高原に住んでいます。なぜここに住んだかといいますと、東京から近いって、素晴らしい自然があり、音楽ホールや美術館など文化的にも豊かなところだからです。ここなら自分が思い描いていた理想

資産運用は、時間を味方につけましょう。



リスクを小さくするための方法、
知っていますか？
「資産の分散」「長期の保有」そして
「時間の分散」です

値動きのある投資信託は、
時間を味方につけて、少しづつ分けて
購入することでリスクを分散。
海老原 あさひら かずお

詳しくは投資信託協会のホームページ、
ガイドブックをご覧ください。

An illustration showing the lower halves of two people, a man in a suit and a woman in a dress, standing next to a large, ornate briefcase.